



おいしさをいつもあなたのもとへ

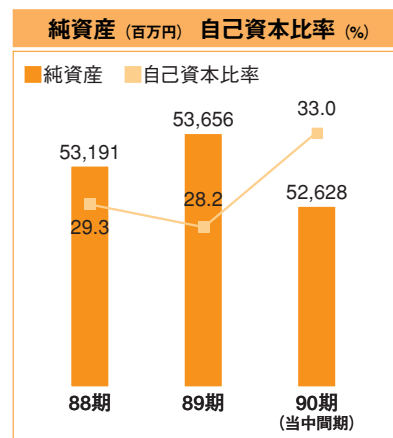
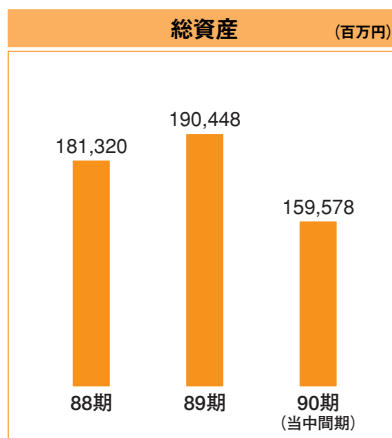
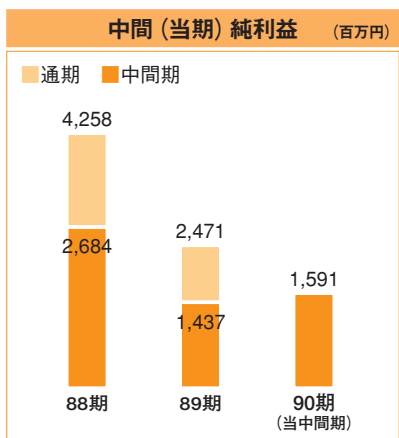
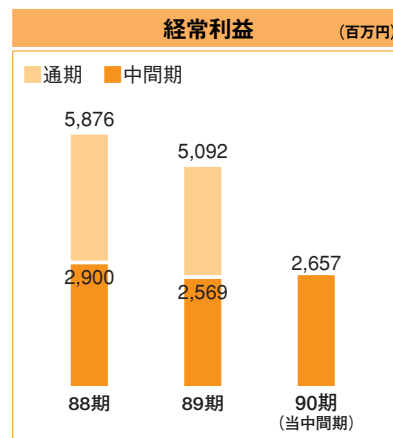
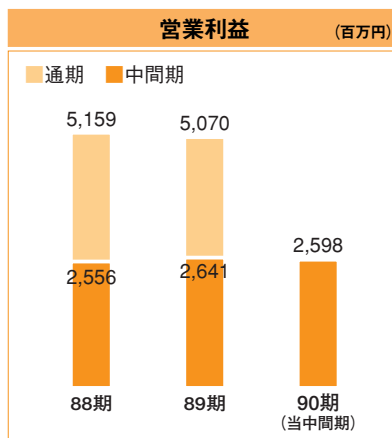
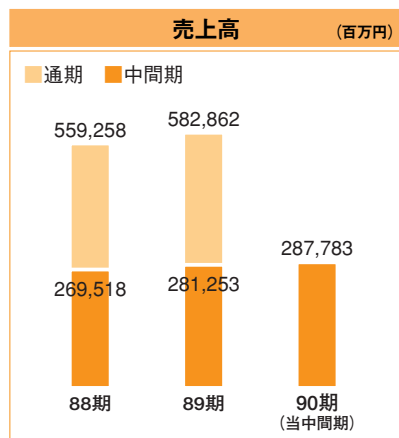
since1886

伊藤忠食品株式会社

証券コード:2692

連結財務ハイライト

売上高	2,877億83百万円	(前年同期比較	2.3%増)
営業利益	25億98百万円	(前年同期比較	1.6%減)
経常利益	26億57百万円	(前年同期比較	3.4%増)
中間純利益	15億91百万円	(前年同期比較	10.7%増)
1株当たり 中間配当金	30円	(前年同期比較	2円増配)





ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第90期（平成19年10月1日から平成20年3月31日まで）の「中間報告書」をお届けいたしますので、ご高覧いただけますようお願い申し上げます。

なお、当中間期の配当につきましては、利益配分に関する基本方針のもと、1株につき前中間期比2円増配の30円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月

代表取締役
社長執行役員 瀧口泰三

当中間期の経営環境

当中間期のわが国経済は、サブプライムローン問題による米国経済の減速、原油・原材料価格の高騰と円高・株安といった金融不安から、企業業績の先行きに不透明感が強まっています。食品流通業界においては、コストプッシュに起因する価格上昇や「食」の安全性を揺るがす社会問題等を背景に消費者心理が萎縮し、個人消費が伸び悩むなど厳しい経営環境で推移しました。

当中間期の概況

このような状況において、当社グループは中核事業であるスーパー、コンビニエンスストアなど組織小売業との取引拡大に注力するとともに、変化する消費者のライフスタイルに対応したサービス提供や新規ビジネスへの取組みにより、企業力の強化に努めています。

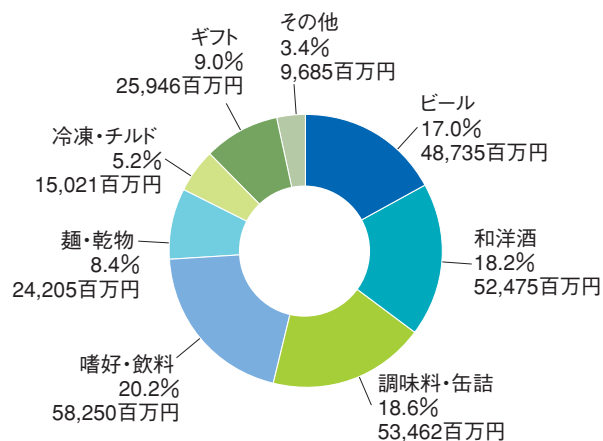
当中間期の連結業績は、スーパー、コンビニエンスストアとの取引拡大により、売上高は前年同期比較2.3%（65億30

百万円)増加の2,877億83百万円となりました。しかし、営業利益は前年同期比較1.6%(42百万円)減少の25億98百万円となりました。これは、売上高増加により売上総利益は増加したものの、センターフィー、運送費等の物流関連費用が増えたことなどによるものです。経常利益は前年同期比較3.4%(88百万円)増加の26億57百万円となりました。これは、営業外損益で1億30百万円の改善があったことによるものです。また、法人税等差引き後の中間純利益は、前年同期比較10.7%(1億54百万円)増加の15億91百万円となりました。

当期の見通し

下半期の国内経済につきましては、原油・原材料の価格高騰や円高、株式市場の低迷などにより、企業業績の先行きに不安要因を抱える厳しい経営環境が続くものと思われます。

■ 商品分類別売上高構成比



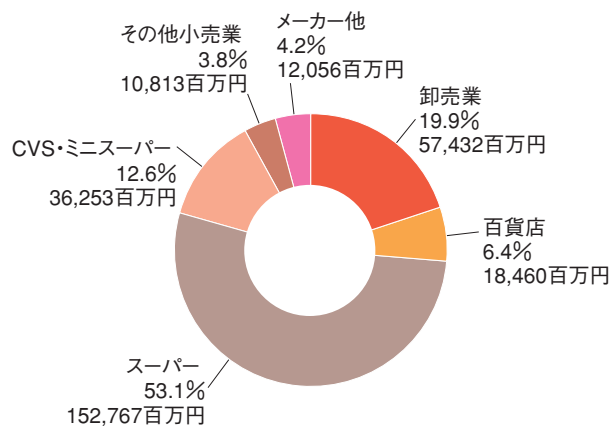
(注) 発泡酒の売上高は「ビール」に、ビール風アルコール飲料(第3のビール)の売上高は「和洋酒」に含んでおります。

食品流通業界におきましても、個人消費の低迷や企業間競争の激化のなかで、製品価格改定・値上げなどにより、依然として厳しい環境で推移するものと思われます。

このような状況において、当社グループは中核事業であるスーパー、コンビニエンスストアなどの取引深耕を一層進めると同時に、今後大きく変化する消費者のライフスタイル対応型のビジネスモデル構築を図り、収益の安定確保と拡大可能な経営体質の確立に努めていく所存です。

当期の見通しにつきましては、売上高は前期比較2.9%増加の6,000億円を予定しています。利益面では、営業利益52億80百万円、経常利益55億90百万円、当期純利益30億円を見込んでいます。

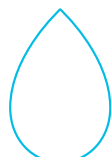
■ 業態別売上高構成比



トピックス

当社は、昨年よりAladdinブランドの国内総販売店として、タンブラーなどの取扱いを開始しています。

また本年2月には商品の一部を「MOTTAINAI」キャンペーン賛同商品として販売し、売上げの一部はグリーンベルト運動（植林運動）に寄付されています。



MOTTAINAI

「MOTTAINAI」とは・・・ノーベル平和賞を受賞したケニア人女性、ワンガリ・マータイさんが2005年来日の際「もったいない」という美しい日本語に感銘を受け、環境を守る世界共通語として「MOTTAINAI」を広めることを提唱。地球環境に負担をかけないライフスタイルを広め、持続可能な循環型社会の構築を目指す世界的な活動として展開しています。

株主優待の
ご案内

「ちょいすdeチョイス」(3,000円相当)厳選された30種類の商品から
お好きな商品をお選びいただけるギフトです。

当社では、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された単元株式数(100株)以上保有の株主様1名につき1口、当社オリジナルギフト商品をご賞味いただける株主優待を行っています。

株主優待カタログは、決議通知と報告書に同封して、12月下旬頃にご郵送する予定です。



「利休の郷」ローストビーフ500g



福さ屋無着色辛子めんたい240g

※ギフト商品は昨年と変更になる場合があります。

■ 中間連結貸借対照表 (単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
①資産の部		
流動資産	107,770	114,131
固定資産	51,808	52,456
有形固定資産	22,901	21,722
無形固定資産	700	629
投資その他の資産	28,205	30,104
資産合計	159,578	166,588
②負債の部		
流動負債	104,564	108,813
固定負債	2,385	3,919
負債合計	106,950	112,733
③純資産の部		
株主資本	50,561	49,399
資本金	4,923	4,923
資本剰余金	7,163	7,162
利益剰余金	39,085	37,318
自己株式	△ 610	△ 5
評価・換算差額等	2,058	4,448
その他有価証券評価差額金	2,060	4,448
繰延ヘッジ損益	△ 1	—
新株予約権	8	7
純資産合計	52,628	53,855
負債純資産合計	159,578	166,588

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

■ 中間連結株主資本等変動計算書 (単位：百万円) 当中間連結会計期間 (平成19年10月1日から平成20年3月31日まで)

	株主資本					評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算 差額等合計		
平成19年9月30日残高	4,923	7,162	38,183	△ 33	50,236	3,402	—	3,402	18	53,656
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当	—	—	△390	—	△390	—	—	—	—	△390
中間純利益	—	—	1,591	—	1,591	—	—	—	—	1,591
自己株式の取得	—	—	—	△599	△599	—	—	—	—	△599
自己株式の処分	—	0	—	21	22	—	—	—	—	22
持分法の適用範囲の変動	—	—	△ 298	—	△ 298	—	—	—	—	△ 298
株主資本以外の項目の中間連結会計 期間中の変動額 (純額)	—	—	—	—	—	△1,341	△1	△1,343	△10	△1,353
中間連結会計期間中の変動額合計	—	0	902	△577	325	△1,341	△1	△1,343	△10	△1,028
平成20年3月31日残高	4,923	7,163	39,085	△610	50,561	2,060	△1	2,058	8	52,628

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

中間連結貸借対照表のポイント

①資産の部

資産合計は前中間期末が金融機関の休日による売上債権の減少と、投資有価証券の評価減により、前中間期末より70億10百万円減少の1,595億78百万円となりました。

②負債の部

負債合計についても、前中間期末が金融機関の休日であったため仕入債務が減少したことなどにより、前中間期末より57億82百万円減少の1,069億50百万円となりました。

③純資産の部

利益剰余金が前中間期末より17億67百万円増加したものの、自己株式の取得やその他有価証券評価差額金の減少などにより純資産は前中間期末より12億27百万円減少の526億28百万円となりました。

■中間連結損益計算書 (単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成19年10月1日から 平成20年3月31日まで	平成18年10月1日から 平成19年3月31日まで
①売上高	287,783	281,253
売上原価	257,881	252,105
売上総利益	29,902	29,147
販売費及び一般管理費	27,303	26,506
② 営業利益	2,598	2,641
営業外収益	515	430
営業外費用	456	501
③ 経常利益	2,657	2,569
特別利益	255	348
特別損失	8	59
税金等調整前中間純利益	2,904	2,857
法人税、住民税及び事業税	1,298	1,014
法人税等調整額	13	405
少数株主利益	—	0
④中間純利益	1,591	1,437

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

■中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成19年10月1日から 平成20年3月31日まで	平成18年10月1日から 平成19年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,038	△ 6,970
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,561	△ 911
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 989	△ 311
現金及び現金同等物の増加額	△ 12,589	△ 8,193
現金及び現金同等物の期首残高	27,720	23,938
現金及び現金同等物の中間期末残高	15,130	15,744

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書のポイント

①売上高

業態別ではスーパー、コンビニエンスストアとの取引が拡大したこと、また商品分類別では酒類が前年同期比較4.4%（42億56百万円）増加、嗜好・飲料が前年同期比較5.3%（29億13百万円）増加したことなどにより、売上高は前年同期比較2.3%（65億30百万円）増加の2,877億83百万円となりました。

②営業利益

営業利益は、売上高増加にともなう売上総利益の増加があったものの、物流関連費用の増加などによる販売費及び一般管理費の増加により前年同期比較1.6%（42百万円）減少の25億98百万円となりました。

③経常利益

経常利益は、営業外損益が1億30百万円改善したことにより、前年同期比較3.4%（88百万円）増加の26億57百万円となりました。

④中間純利益

中間純利益は、前年同期比較10.7%（1億54百万円）増加の15億91百万円となりました。これは、前年同期より法人税等調整額が減少したことによるものです。

■中間貸借対照表 (単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
資産の部		
流動資産	106,046	110,695
固定資産	50,820	51,042
資産合計	156,867	161,737
負債の部		
流動負債	102,151	105,300
固定負債	1,335	2,805
負債合計	103,487	108,106
純資産の部		
株主資本	51,282	49,194
資本金	4,923	4,923
資本剰余金	7,161	7,161
利益剰余金	39,800	37,114
自己株式	△ 603	△ 5
評価・換算差額等	2,089	4,429
その他有価証券評価差額金	2,089	4,429
新株予約権	8	7
純資産合計	53,379	53,631
負債純資産合計	156,867	161,737

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

■中間損益計算書 (単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成19年10月1日から 平成20年3月31日まで	平成18年10月1日から 平成19年3月31日まで
売上高	281,180	273,464
売上原価	252,859	246,178
売上総利益	28,321	27,286
販売費及び一般管理費	25,732	24,752
営業利益	2,588	2,533
営業外収益	545	463
営業外費用	208	87
経常利益	2,925	2,909
特別利益	204	445
特別損失	7	455
税引前中間純利益	3,122	2,899
法人税、住民税及び事業税	1,265	984
法人税等調整額	43	247
中間純利益	1,813	1,667

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

■中間株主資本等変動計算書 (単位：百万円) 当中間会計期間 (平成19年10月1日から平成20年3月31日まで)

	株主資本								評価・換算 差額等	新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金					自己株式				株主資本合計
			利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計					
			固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金			その他 有価証券 評価差額金				
平成19年9月30日残高	4,923	7,161	1,230	199	33,200	3,747	38,378	△26	50,436	3,382	18	53,838
中間会計期間中の変動額												
別途積立金の積立	—	—	—	—	2,500	△2,500	—	—	—	—	—	—
固定資産圧縮積立金の取崩	—	—	—	△5	—	5	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△390	△390	—	△390	—	—	△390
中間純利益	—	—	—	—	—	1,813	1,813	—	1,813	—	—	1,813
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	△599	△599	—	—	△599
自己株式の処分	—	0	—	—	—	—	—	21	22	—	—	22
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額 (純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△1,293	△10	△1,303
中間会計期間中の変動額合計	—	0	—	△5	2,500	△1,072	1,422	△577	845	△1,293	△10	△458
平成20年3月31日残高	4,923	7,161	1,230	194	35,700	2,675	39,800	△603	51,282	2,089	8	53,379

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

会社の概要

商号	伊藤忠食品株式会社
創業年月日	明治19年2月11日 (1886年2月11日)
設立年月日	大正7年11月29日 (1918年11月29日)
資本金	4,923,464,500円
従業員数	連結1,147名 個別871名
事業内容	酒類・食品の卸売およびそれに伴う商品の保管、運送ならびに各種商品の情報提供、商品流通に関するマーチャンダイジング等を主とした事業活動を展開。
本店所在地	大阪市中央区城見2-2-22 大阪本社 〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22 電話 (06) 6947-9811 東京本社 〒103-8320 東京都中央区日本橋室町3-3-9 電話 (03) 3270-7620

役員

取締役 会長執行役員	尾崎 弘	常務執行役員	栗山 勝之
代表取締役 社長執行役員	濱口 泰三	常務執行役員	佐藤 進
取締役 専務執行役員	岩城 彰	執行役員	山仲 春男
取締役 (非常勤)	青木 芳久	執行役員	泉屋 洋
常勤監査役	浜田 等	執行役員	森本 政朗
監査役 (非常勤)	松本 耕一	執行役員	長谷 茂
監査役 (非常勤)	増岡 研介	執行役員	藤田 博
監査役 (非常勤)	西山 実	執行役員	藤原 章夫
専務執行役員	大野 志郎	執行役員	山崎 義雄
専務執行役員	足立 誠	執行役員	勝山 元春
			大釜 賢一
			小嶋 一郎

※前代表取締役副社長執行役員 西村均は、平成20年4月1日に逝去いたしました。

※平成20年4月7日開催の臨時取締役会において、取締役専務執行役員 岩城彰は、代表取締役専務執行役員に選任され、就任いたしました。

子会社・関連会社

	名称	主要事業内容	議決権比率 (%)
● 連結子会社	株式会社静岡メイカン	食品卸売業	100.0
	愛知伊藤忠食品株式会社	食品卸売業	100.0
	九州伊藤忠食品株式会社	酒類・食品卸売業	100.0
	新日本流通サービス株式会社	物流管理・運送業	100.0
● 非連結子会社	ティーエスアイ株式会社	食品卸売業	60.0
	株式会社宝来商店	酒類・食品小売業	100.0
	株式会社東名配送センター	物流管理・運送業	51.0
	ジャパン・カーゴ株式会社	物流管理・運送業	90.0
	株式会社リシオ	外食業	100.0
	株式会社アイ・エム・シー	サービス業	100.0
	株式会社グレースコーポレーション	サービス業	88.5
● 関連会社	株式会社中部メイカン	食品卸売業	42.5
	カネトミ商事株式会社	食品卸売業	34.7
	プライムデリカ株式会社	食品製造業	20.0
	株式会社磯美人	食品製造業	42.5
	株式会社スハラ食品	酒類・食品卸売業	35.0

(注) 1 ジャパン・カーゴ (株) の議決権比率は、90.0%のうち70.0%が新日本流通サービス (株) による間接所有であります。

2 持分法適用非連結子会社である (株) グレースコーポレーションは、平成19年12月1日付で持分法適用非連結子会社であった (株) トレーサーコーポレーションを吸収合併いたしました。

3 当中間連結会計期間において持分法適用関連会社であった北陸中央食品 (株) の株式を一部売却したため、持分法の適用範囲から除外いたしました。

4 持分法適用関連会社であった (株) 磯美人は、中間純損益および利益剰余金 (持分に見合う額) 等からみて持分法の対象から除いても中間連結財務諸表におよぼす影響が軽微であり、かつ、全体として重要性がないため持分法の適用範囲から除外いたしました。(株) 磯美人の議決権比率は、全て (株) 中部メイカンによる間接所有であります。

5 平成20年4月1日付で人事総務・財務・経理・債権債務管理等の業務委託を目的としたISCビジネスサポート (株) を新設し、連結子会社といたしました。

株式の状況

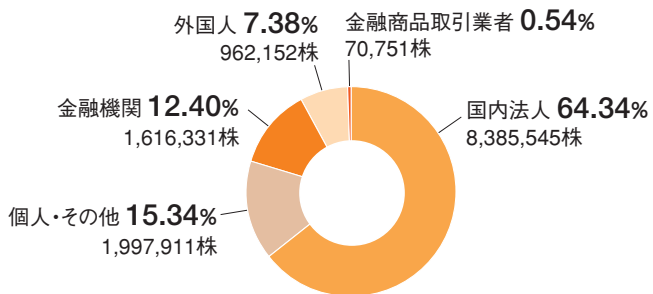
発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	13,032,690株
株主数	8,347名

大株主

株主名	所有株式数(株)	所有株式数比率(%)
伊藤忠商事(株)	6,219,316	47.72
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (住友信託銀行再信託分・アサヒビル(株)退職給付信託口)	690,000	5.29
アサヒビル(株)	421,500	3.23
(株)日本アクセス	400,000	3.07
味の素(株)	339,129	2.60
松下善四郎	302,000	2.32
みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託	236,835	1.82
伊藤忠食品(株)	201,195	1.54
伊藤忠食品従業員持株会	155,100	1.19
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	153,300	1.18

- (注) 1 日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (住友信託銀行再信託分・アサヒビル(株)退職給付信託口) の所有株式は、アサヒビル(株)が所有していた当社株式を住友信託銀行(株)に信託したものが、日本トラスティ・サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権はアサヒビル(株)に留保されております。
- 2 みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託の所有株式は、株みずほ銀行が所有していた当社株式をみずほ信託銀行(株)に信託したものが、資産管理サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権は株みずほ銀行に留保されております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月
基準日	定時株主総会 9月30日 期末配当金 9月30日 中間配当金 3月31日
株主名簿管理人	〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒541-0041 大阪市中央区北浜二丁目2番21号 中央三井信託銀行株式会社 大阪支店 証券代行部
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 * 公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.itochu-shokuhin.com/
単元株式数	100株
証券コード	2692

お知らせ

各種手続きに必要な用紙のご請求
住所変更、名義書換請求、単元未満株式買取請求
および配当金振込指定に必要な用紙のご請求は、
下記にて受付しております。

株主名簿管理人のフリーダイヤル

0120-87-2031

インターネットホームページ

http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

株券の電子化（株券ペーパーレス化）が平成21年1月に実施される予定です。

上場会社の株券は平成21年1月を目標に一斉に電子化（ペーパーレス化）され無効となります。株主さまとしての権利は電子化後も引き続き確保されます。ただし、現在お手元に株券をお持ちの株主さまは名義を確認しておく必要があります。

お手元の株券はご本人名義になっていますか？

はい

※ご家族の株券もご確認ください。

いいえ

株主の権利に影響はありません

ご本人の名義になっている場合は、**株主の権利に影響はありません。**
ただし、株券の電子化実施後は、発行会社が開設する特別口座で管理されますがそのままでは株式の売買はできません。証券会社のご本人の口座に移す必要があります。

名義書換をしてください

ご本人以外の名義になっている場合は、**株主の権利を失うおそれがあります。**
●名義書換については、お取引のある証券会社または株主名簿管理人にお問い合わせください。
●証券会社を通じて証券保管振替制度をご利用いただくと、ご本人による名義書換手続きが不要となります。

株券を証券会社（証券保管振替機構）にお預けの場合

自由に売却できます

株券を証券会社（証券保管振替機構）にお預けの場合には特段のお手続きは必要ありません。株主の権利は自動的に確保されます。また、これまでと同様に自由な売買が可能です。
※「証券保管振替機構（ほふり）」についての詳細は証券会社へお問い合わせください。

「株券の電子化」に関するお問い合わせ

日本証券業協会 証券決済制度改革推進センター（証券受渡・決済制度改革懇談会事務局）
TEL：03-3667-4500 ホームページ：<http://www.kessaicenter.com/>

	'08年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	'09年 1月	
電子化までのスケジュール	<p>●株主総会ピーク</p> <p>●通知案内増加</p> <p>証券会社の窓口の混雑が予想され、信託銀行等の窓口も名義書換の手続きで大変混雑が予想されます。</p>									
								約2週間	約3週間	
								お手元の株券ほふりに預託不可	電子化実施予定	「特別口座」開設中のため、振替不可
										株券は無効

ISC 伊藤忠食品株式会社

お問い合わせ

大阪本社

〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22

電話 (06) 6947-9811

東京本社

〒103-8320 東京都中央区日本橋室町3-3-9

電話 (03) 3270-7620

インターネットホームページURL

<http://www.itochu-shokuhin.com/>



再生紙を使用しています。